

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公表番号】特表2004-524271(P2004-524271A)

【公表日】平成16年8月12日(2004.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-031

【出願番号】特願2002-531161(P2002-531161)

【国際特許分類第7版】

C 0 7 K 7/06

C 1 2 N 5/06

【F I】

C 0 7 K 7/06 Z N A

C 1 2 N 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月29日(2003.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

H L A - C w 3分子に結合する、単離されたペプチドであって、該ペプチドとH L A - C w 3分子の複合体に特異的なT細胞増殖を惹起させ、該ペプチドのアミノ酸配列が配列番号2からなる、単離されたペプチド。

【請求項2】

H L A - C w 6分子に結合する、単離されたペプチドであって、該ペプチドとH L A - C w 6分子の複合体に特異的なT細胞増殖を惹起させ、該ペプチドのアミノ酸配列が配列番号3からなる、単離されたペプチド。

【請求項3】

H L A - C w 3分子および請求項1に記載のペプチドの複合体に特異的な、単離された細胞溶解性T細胞。

【請求項4】

H L A - C w 6分子および請求項2に記載のペプチドの複合体に特異的な、単離された細胞溶解性T細胞。

【請求項5】

細胞溶解性T細胞増殖の応答を刺激するための方法であって、細胞表面にH L A - C w 3分子と請求項1に記載のペプチドとの複合体を提示する細胞と、T細胞を含有するサンプルとを接触させて、該複合体に特異的な細胞溶解性T細胞の増殖を刺激する工程を包含する、方法。

【請求項6】

細胞溶解性T細胞増殖の応答を刺激するための方法であって、細胞表面にH L A - C w 6分子と請求項2に記載のペプチドとの複合体を提示する細胞と、T細胞を含有するサンプルとを接触させて、該複合体に特異的な細胞溶解性T細胞の増殖を刺激する工程を包含する、方法。

【請求項7】

配列番号2のペプチドをコードするヌクレオチド配列からなる核酸分子。

【請求項8】

配列番号 3 のペプチドをコードするヌクレオチド配列からなる核酸分子。